

大阪城

2022
5/30
(月)
14264
号

全港湾
西成分會

224
6647-
4947

ジワジワ暑者なってきた。30度を越える日
ふえてくるのだらう。扇風機やクーラーも
いりし。ジメジメした梅雨もやってくる。
熱さの向う3ヶ月、熱さに耐えてのリンニエて
いく身体にしたり、小さな工夫も考えて
今年も、秋を手にしたいものです。

先週は、アメリカのバイデン大統領がやってきて
帰って行ったが、79歳というから激務でたいへんな
ことだらう。暮末、黒船でペリーがやってきてから
アメリカとの関係も変わったものです。あの頃の
若々しいアメリカの姿はなくなつた。

とこ上げられている中国の悪口をたくさん言つて
日本にオレというしよに、中国をやっつけようとか、
そんか仕事で帰つていった。中国とアメリカの関係は、
日本ではあまり研究者もおらず、研究もされていながら、
日本の黒船より20年ほど早く、1840年のアヘン戦争の
前からの関係だらう。日本以上に、中国はアメリカとは
複雑で深い深い関係が過去からあるようだが、
日本人はあまり知らないうた。アメリカの最初の
ロケット研究者の第一の弟子が、中国のロケット研究者
とか、原子力開発の時、中国の若い留学生たちがいたとか。
アメリカ従属だけでは、日本の未来はなさそうである。

まだ5月なのに猛暑日迫る 暑さに身体をならさないと大変

まだ梅雨にもならないのに35度を超える猛暑日がせまっています。日本の季節感覚がづれてきているのでひと昔のようにな穏やかな季節を期待することができなくなっています。

地球温暖化の影響と言いつつこのようですがインドなんかは50度を超える日が2か月も続いて干ばつになっていて小麦がかれて大不作になるといわれています。

さすが日本では40度をこえても50度はありえないとおもうけど事態の進行の深刻度がわかるもののようです。

端境期の「現金仕事」が干し上がっている「事態」の中で、むりして厳しい現場にでないといけない仲間のみなさん。くれぐれも暑さ対策気をつけてください。

ウクライナ戦争でロシアとウクライナの小麦が世界に出れなくなつて飢餓と食糧難がこれから襲ってくるようです。大変な事態に直面することになりそうです。